

仙台南部地区特別支援学校整備事業に係る進捗状況について

1 事業の概要

仙台圏域における知的障害特別支援学校の狭隘化の解消を図るとともに、今後とも増加が見込まれる軽い知的障害のある生徒（中学校特別支援学級卒業者）の後期中等教育段階における学びの場を確保するため、仙台市南部の秋保地区に特別支援学校を新設する。

(1) 予定地

仙台市太白区秋保町湯元字鹿乙（旧拓桃医療療育センター・旧拓桃支援学校跡地）

(2) 事業規模（14, 143 m²）

- ・校舎4F（小学部・中学部・高等部普通科） 7, 902 m²
- ・校舎2F（高等部産業技術科） 3, 601 m²
- ・寄宿舎・生活訓練棟 2, 640 m²

(3) 学校規模（36学級・定員210名）

- ・小学部 12学級（単一6, 重複6） ※54人
- ・中学部 6学級（単一3, 重複3） ※27人
- ・高等部（普通科） 6学級（単一3, 重複3） ※33人
- ・高等部（産業技術科） 12学級（単一12） ※96人

(4) 事業期間

平成30年度から平成36年度まで（平成36年4月供用開始予定）

(5) 事業費

建設費 89億3, 900万円

2 進捗状況

- 8月24日、宮城県行政評価委員会から、「事業を実施することは妥当と認める。」との答申を受けた。
- 9月3日の政策・財政会議において、本事業を実施することは適切であると判断された。
- 平成30年度9月議会において、設計プロポーザル関連事業費として14万3, 000円の補正予算を計上するとともに、基本設計・実施設計に関する費用として、平成30年度から平成33年度までの4か年で、2億1, 100万円の債務負担行為を設定する議案を提出する。

3 今後のスケジュール（予定）

- 平成30年12月～平成31年3月 プロポーザル方式による設計事業者選定
- 平成31年6月～平成33年7月 基本・実施設計
- 平成33年8月～平成35年11月 建築工事
- 平成36年4月 供用開始予定

想定建物配置図

仙 台 市 太 白 区
秋 保 町 湯 元



市街化調整区域
事業敷地

- 全体面積 26,000㎡
(青マーカーの範囲)
- アスファルト舗装面積12,000㎡
(グラウンド、法面、建築範囲、遊具スペース、畑を除く)
- 外周フェンス 820m
(外周全部・出入口2か所)
- グラウンド外周防球ネットH10・330m
(グラウンド外周全部)

- ① 7867.08㎡ 4F(RC)
管理諸室
普通教室(小・中・高:普通科)
特別教室(小・中・高:普通科)
体育館・プール
 - ② 3,601㎡ 2F(RC)
管理諸室
普通教室(高:産業技術科)
特別教室(高:産業技術科)
実習施設
 - ③ 2,540㎡ 3F(RC)
寄宿舎
 - ④ 100㎡ 1F(S)
生活訓練棟
 - ⑤ 35㎡ 1F(S)
倉庫(体育物品・除雪機等)
- ①+②+③+④+⑤=14,143.08㎡
- 駐車場173台
スクールバス乗降場
駐輪場(10台) 4,000㎡

